

リスク管理の体制

金融の高度化・多様化・グローバル化が進展するに従い、金融機関が直面するリスクは量的に拡大し、質的にも多様で複雑なものになってきました。日々変革する時代の中で健全性を保ち収益性に優れた経営体質を実現する為には、経営全般にわたるリスク管理体制の整備が重要課題となり

リスク管理委員会

当金庫の業務執行により発生する様々なリスクを、業務、組織を越えて総合的に把握し、当金庫の意思決定に必要な情報を集約し、業務運営方針、リスク管理体制に関する検討を実施する組織として、「リスク管理委員会」を設置しています。

リスク管理委員会では、各リスク管理主管部署から定期的或いは必要の都度報告を受け、各種リスクの一元管理を

ます。

当金庫では、各種リスクに対する管理体制を整備し、それぞれのリスクをコントロールすることにより、経営の健全性と体質強化に努めております。

行い常務会に報告を行っております。

また、報告に基づくリスク管理に関する重要な事項について、各リスク管理主管部署のリスクの把握方法及び報告等が適切であるか検証を行うと共にリスク管理手法の改善にも取り組んでおります。

信用リスク管理

信用リスクとは、お取引先の倒産や業況悪化などにより、貸出金等の元本や利息が約定どおり返済されなくなり損失を被るリスクをいいます。

当金庫では、貸出資産の健全性維持向上のため、毎年実施する厳格な「自己査定」結果を踏まえ、適正な償却・引当を行

い資産の健全性を図っております。

また、人材育成面において、審査能力向上のため外部講師による職場内研修や外部研修等の積極的な活用により、職員の貸出審査・管理能力向上に努めております。

市場リスク管理

市場リスクとは、金利、為替、有価証券等の市場変動によって保有する資産の価値が変動するリスクのことをいいます。

当金庫では、上記リスク変動に対応するため「ALM(資産・

負債の総合管理)委員会」を定期的で開催し、市場金利等が変動した場合の影響度合いを把握し、資金の運用と調達管理を行っております。

流動性リスク

流動性リスクとは、予期せぬ資金の流出や、運用と調達のミスマッチ(期間のずれ)により、資金が不足し、高コストの資金調達や不利な価格での取引を余儀なくされ、利益が減少したり、資金調達に懸念が生じたりするリスクのことをいいます。

当金庫では総務部において、運用と調達の管理を行っております。

また、定期的で開催する「ALM委員会」で検証することにより常時適正な流動資産を確保して、不測の事態に備えております。

事務リスク管理

事務リスクとは、事務上のミスや不正等により損失を受けるリスクのことをいいます。

当金庫では、検査部による定期的な臨店検査を実施しているほか、営業店での定期的な店内検査を義務付けており

ます。また、事務改善委員会の定期的な開催により、営業店事務の改善点の指摘と事務の統一化、合理化ならびに正確な事務処理に努めております。

システムリスク管理

システムリスクとは、コンピュータ・システムのダウン又は誤作動等、システムの不備等により損失を受けるリスクや、システムの不正使用による損失のことをいいます。

当金庫のオンライン・システムの運用・管理は信金東京共同事務センターが行っており、同センターは、災害等の対

策として万全なバックアップ体制を整備しております。また、当金庫はコンティンジェンシープランの策定により、各種システムの誤作動やダウン時の対策にも万全な体制を確保いたしております。